

ボルネオの今

森はプランテーションになり、野生動物たちは人間に追い出されています。

下の写真は、ボルネオ島のキナバタンガン川をヘリコプターから撮った写真です。川の奥に見える緑は熱帯雨林で、川の手前はプランテーション(大規模農場)です。両方とも緑でいっばいに見えますが、よく見ると違ってくる箇所があります。



河岸に残った森

森を切ったため洪水で荒れ果てた土地。

白い線は道路。アブラヤシを運ぶため、最初に道路を作ります。

What
アブラヤシのプランテーション。森ではないので、多くの野生動物は隠れず生きています。規則正しく植えられています。

What
アブラヤシを荒らすゾウは害獣として扱われます。



パーム核油

アブラヤシとパーム油

アブラヤシは西アフリカ原産の植物で、パーム油、パーム核油の原料になります。パーム油は生産量約7000万トンで、世界でいちばん多く作られている植物油です。日本人一人当たり年間約4.5kgを使っています。インドネシアとマレーシアで世界の85%を生産しています。



パーム油は、油脂の34%

パーム油は食品や洗剤などに多用されます。

パーム油の80%は食用です。インスタント麺、ポテトチップス、チョコレート、スナック菓子、冷凍食品、アイスクリーム、コーヒーフレッシュ、赤ちゃんの粉ミルクまで私たちにみちがちな多くの食品は、パーム油が使われています。

残りは非食用で、シャンプー、リンス、石鹸、化粧品などの原料、バイオ燃料、インクなどに使われています。

「植物性油脂」と表示されているもの多くに、パーム油が使われています。

日本人の生活を支えている、なくてはならない油ですが、急激なプランテーションの開発(森がなくなること)により、さまざまな問題が起きています。



森がなくなると・・・

森は、二酸化炭素を吸収し、酸素を作る役割があります。森がなくなると、森に貯めてあった二酸化炭素が排出されて温暖化が進みます。

森は、雨水をためておけるので「緑のダム」と言われていますが、森がなくなると水をキープすることができず、大洪水になったり、雨の少ない時期には干ばつになりがちです。

また、プランテーションを開発するとき森を焼き払うと、山火事やヘイズ(煙害)を起します。



熱帯雨林にはたくさんの動植物が棲みかや食べ物を得て複雑に依存しあっています。森がなくなると植物も少なくなくなり、そこに棲む野生動物から昆虫まですべての生物の依存関係が崩れ、たった一つの生物種の絶滅でさえ、多くの生物の絶滅に連鎖的につながってしまうのです(生物多様性の喪失)。

アブラヤシのプランテーションで使われた農薬や肥料が土や川に流れ込み、環境を汚したリプランテーションで働く人の健康を害します。プランテーションで働く人たちの賃金の安さ、児童労働なども問題です。

パーム油

写真・イラスト提供: 認定NPO法人ボルネオ保全トラスト・ジャパン